TOYOTOMI トヨストーブ

《純正部品》 替しん **TTS-23**

トヨ耐熱しん 第23種

石油燃焼機器用しん 取扱説明書

●しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。（しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。）

商品コード	11025207
品　　名	タイネツシンクミタテ

T4963505999278

適合する機器の型式表	参照
RB−20・20A・25・25A・25B・25C・25D・25E・P25E RBE−25C・25E、RL−25C、MR−25D、DT-25BR ML−21・22・25・25A・25B・25C、CL-25E	①
RCA-26 RCA-66・67・68 RCA-260・680	②
R-20〜23、RS-216・217 KR-23、KRS-216・217	③
RSA-11	④

JIS S 2038
石油燃焼機器用しん

品番 ： 1439000680

替しんの型式名	トヨ耐熱しん第23種	種　　類	普通筒しん
呼　び　寸　法	φ65×2.5	からやきの可否	からやき可

株式会社 トヨトミ

ホームページ　http://www.toyotomi.jp

本　　社　〒467-0855
名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
フリーコール　0120-104-154
TEL 〈052〉822-1144
FAX 〈052〉822-2742

株式会社 トヨトミ　　製造　NK　　1439000685　　E−Ⓑ

■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

ここに示した事項は ⚠注意 を表示しています。

⚠注意 ：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

❗ マークは「指示」　🚫 マークは「接触禁止」

⚠注 意（CAUTION）

★適合する機器の確認
適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。
予想もしない事故が発生するおそれがあります。
❗ 確認

★保護具の着用
機器の分解時は、保護具（手袋など）を着用してください。
誤ってけがをするおそれがあります。
❗ 指示

★高温部に注意
必ずストーブを消火し、ストーブの温度が充分に下がってからおこなってください。
やけどのおそれがあります。
🚫 接触禁止

★乾電池を取りはずす
必ずストーブの乾電池を取りはずしておこなってください。
やけどや感電のおそれがあります。
❗ 指示

★廃棄するとき
交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。
廃棄処理の際、予想しない事故が発生するおそれがあります。
灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。
❗ 指示

お 願 い（NOTICE）

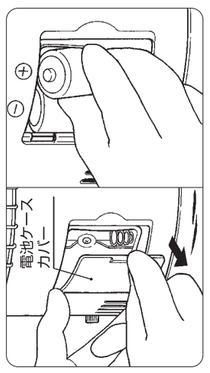
★しん取り付け後の確認
- しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
- 対震自動消火装置を作動させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
- 点火操作をして、正常に燃焼することを確かめてください。

★変質灯油や不純灯油に注意
変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。
異常燃焼や故障（点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など）の原因となり、しんの寿命が短くなります。

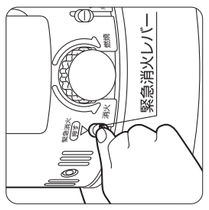
★この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。
★しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が充分に吸い上げられてから点火してください。充分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

適合する機器の型式表 の 参照 ① の機種

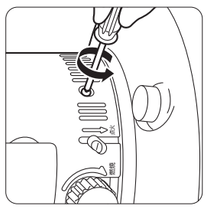
1 電池ケースカバーを取りはずし、乾電池を取り出してください。



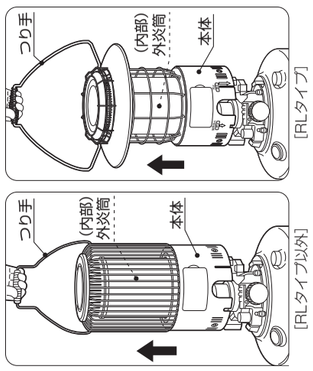
2 「緊急消火レバー」を押し下げて、対震自動消火装置を作動させてください。



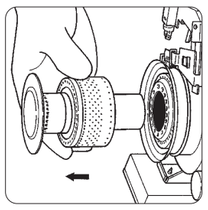
3 本体の止めねじ3本を取りはずしてください。



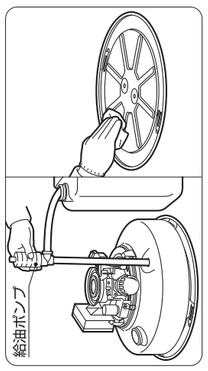
4 つり手をゆっくり真上に持ち上げて、本体と本体内部の外炎筒を取りはずしてください。
内炎筒がいっしょにはずれてくることがあります。



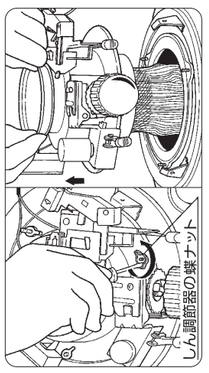
5 内炎筒を取りはずしてください。



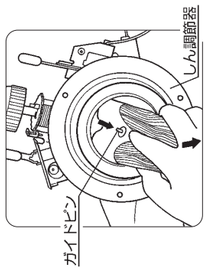
6 給油口ふたを取りはずし、市販の給油ポンプの吸込側を油タンクに差し込んで、油タンク内の灯油を抜き取ってください。
●**残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。**
●**油タンクを左回転させて置台をはずし、置台の上のほこり、ごみを取りのぞいてください。**



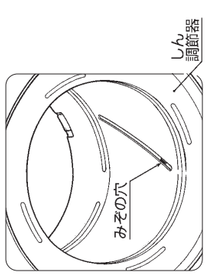
7 しん調節器の蝶ナット3本をはずし、しん調節器を上に持ち上げて取りはずしてください。
●**蝶ナットが回しにくい場合は、下図のようにマイナスドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。**

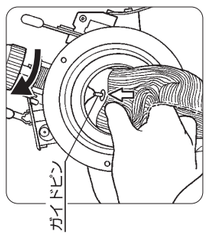


8 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン（3箇所）をしん調節器からはずし、しんを下へ引き抜いてください。

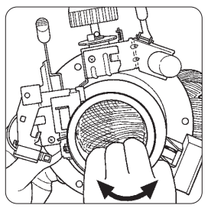


9 新しいしんを軽く4つ折りにして、しんのガイドピンをしん調節器の内側のみぞの穴（3箇所）に差し込んでください。
●**しん調節つまみを軽く回すと、差し込みやすくなります。**

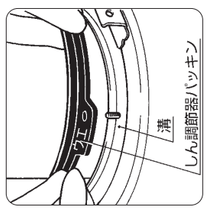




10 しんを、しん調節器の内側に指で押しつけてなじませてください。充分になじませないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。

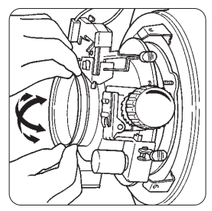


11 しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。
しん調節器パッキンの表示（ウエ）位置を合わせて取りつけてください。

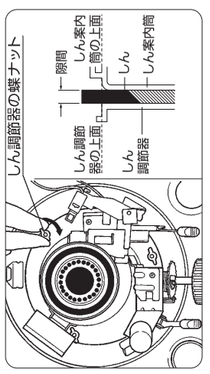


12 しんの下部を広げて、しんをなじませるために、しん調節器を前後左右に動かしながら油タンクにはめ込んでください。

お願い
しんの先端は確実に油タンクに入っており、しんのほつれや糸が、油タンク外に出ないようにしてください。

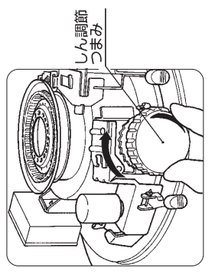


13 しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、1ページの6項ではずしたしん調節器の蝶ナット3本で均等に締めてください。一箇所のみを締め付けるのではなく、均等に徐々に締めてください。
しん調節器の上面と、しん案内筒の上面（外炎筒・内炎筒ののる面）の高さが、揃っていることを確かめてください。
（揃いが悪いと炎が片燃えします。）

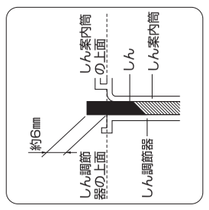


14 しん調節つまみを右「↻」に止まるまで回して、しんを上げてください。
緊急消火レバーを押し下げて対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2〜3回確認してください。

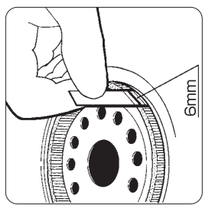
お願い
しんの上下がスムーズでない場合は2ページの10項からやり直してください。



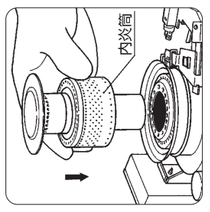
15 しんをいっぱいに上げたとき、しんの高さは標準で、約6mmです。しんの高さが均一に揃っていることを確かめてください。



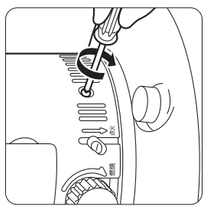
●10ページのゲージを使用して、しんの高さを確認してください。



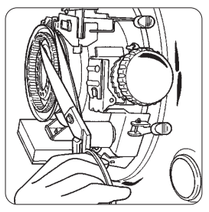
16 内炎筒をしん案内筒の上面にのせてください。



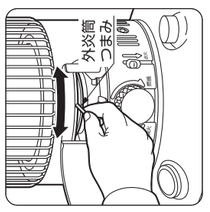
17 本体をかぶせ、外炎筒を正しくしん調節器の上にのせて、本体の止めねじ3本で取り付けてください。



●しん上端のほつれ等は、はさみで切り揃えてください。



18 扉を開け、外炎筒つまみを持って軽く左右に2〜3回動かし、外炎筒がしん調節器の上に正しくセットされているか、しんの上にのっていないかを必ず確かめてください。



19 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。

20 油タンクに給油してから、20分以上待ってしんに灯油が充分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

裏面に、しん高さ確認ゲージがついています。

適合する機器の型式表 の 参照 ② の機種

1 対震自動消火装置のセットつまみを押し下げて、対震自動消火装置を作動させてください。（作動しないと、ハグルマでけがをする場合があります）

●乾電池を、電池ケースから取りはずしてください。

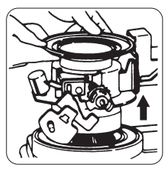
2 前面のガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。

3 油タンクを取り出し、つぎにしん調節つまみを引き抜いてください。

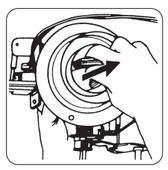
4 点火つまみを引き抜いてください。

5 本体の両側面と背面にある体止めねじ（3箇所）をはずし、本体を取りはずしてください。

6 置台後部の電池ケースのつぎ目（２箇所）で、コードを手前に引き抜いてください。



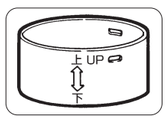
7 しん調節器を固定している蝶ナット（３本）を取りはずし、しん調節器を、上に持ち上げてはずしてください。



8 古いしんを４つ折りにするようにして（3箇所のガイドピンを、しん調節器からはずします）、しんを下へ引き抜いてください。

このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。

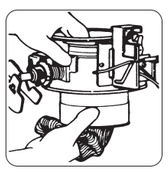
9 しん調節器の内側のみぞの穴と、しんホルダーの穴を合わせてください。



このとき、しんホルダーの上下を間違えないでください。

10 新しいしんを軽く４つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみぞの穴に、しんのガイドピンを３箇所差し込んでください。

このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。



11 しんを、しん調節器の内側に指でこすりながら充分になつかせてください。

充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときにしんが下がらないことがあります。

12 しんの下部を拡げて、油受けざらにしん調節器をはめ込んでください。

（しんのほつれや糸が、油受けざらの外に出ないように注意してください）

13 しん案内筒としん調節器との隙間が全周揃っている所で、蝶ナット（３本）で均等に指で強くしめ、固定してください。

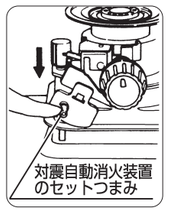
１本のみを締め付けるのではなく、３本を均等に徐々に締めてください。

しん調節器の上面としん案内筒の上面（燃焼筒ののる面）の高さが揃っていることを確認してください。（揃いが悪いと炎が片燃えします）

14 しん調節器にしん調節つまみを差し込んでください。

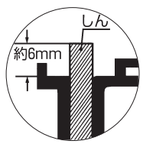
●対震自動消火装置のセットつまみを押し上げて、対震自動消火装置をセットしてください。

●しん調節つまみを、右「↻」に止まるまで回して、しんを上げてください。



15 セットつまみを押し下げて、対震自動消火装置を作動させ、しんが完全に下がることを２～３回繰り返して確かめてください。

しんが完全に下がらないときは、しんのなつきが悪いためです。もう一度６ページの11項からやりなおしてください。



16 しんをいっぱいに上げたとき、しんの高さは、標準（しん高さ調節つまみの①の穴に固定ピンの凸部が入っているとき）で約６㎜です。

しんが、約６㎜の高さに均一に揃っていることを確かめてください。

●10ページの**しん高さ確認ゲージ**を使用して、しんの高さを確認してください。

17 しん上端の糸のほつれ等がありましたら、はさみなどで取り除いてきれいに整理してください。

18 電池ケースに、コード（２本）をカチッと音がするまで差し込んでください。

19 しん調節つまみを引き抜き、体をかぶせ、体止めねじ（３本）を固定してください。

20 しん調節つまみと、点火つまみを差し込みます。

21 燃焼筒を、しん調節器の上へ正しくセットしてください。
ガードを閉じて油タンクを入れてください。

22 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。

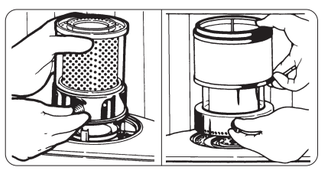
23 油タンクに給油してから20分以上待って、しんに灯油が充分に吸い上げられてからしん調節つまみを回してしんを上下させ、点火操作をして、各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

適合する機器の型式表 の 参照 ③ の機種

1 油タンクを取り出してください。

●乾電池を、電池ケースから取りはずしてください。

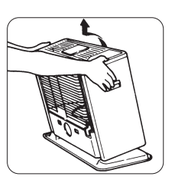
2 緊急消火ボタンを押して、消火装置を作動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。



3 しん調節つまみを引き抜いてください。

4 体の両側面と背面にある体止めねじ（3本）を、左にねじって取りはずしてください。

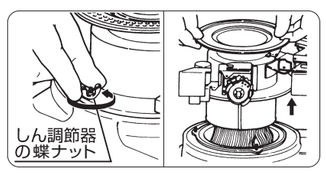
■R-20・21・22・23、RS-216・217、KR-23、KRS-216・217は、プラスドライバーで取りはずしてください。



5 体を前方に傾けてから、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。

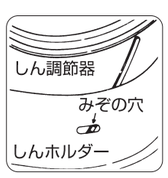
6 置台後部の電池ケースのつぎ目（２箇所）で、コードを引き抜いてください。

7 しん調節器の蝶ナット（３本）を取りはずし、しん調節器をゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。

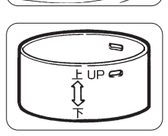


8 古いしんを４つ折りにするようにして（3箇所のガイドピンをしん調節器からはずします）、しんを下へ引き抜いてください。

このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。



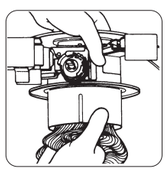
9 しん調節器の内側のみぞの穴と、しんホルダーの穴を合わせてください。



このとき、しんホルダーの上下を間違えないでください。

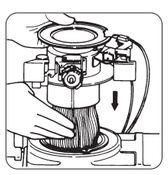
10 新しいしんを軽く４つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみぞの穴にしんのガイドピンを３箇所差し込んでください。

このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。



11 しんを、しん調節器の内側に指でこすりながら充分になつかせてください。

充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときにしんが下がらないことがあります。



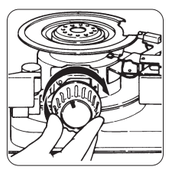
12 しんの下部を拡げて、油受けざらにしん調節器をはめ込んでください。

（しんのほつれや糸が、油受けざらの外に出ないように注意してください）

13 しん案内筒としん調節器との隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット（３本）を均等に締めてください。

１本のみを締め付けるのではなく、３本を均等に徐々に締めてください。

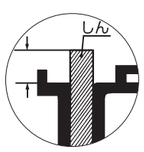
しん調節器の上面としん案内筒の上面（燃焼筒ののる面）の高さが揃っていることを確認してください。（揃いが悪いと炎が片燃えします）



14 しん調節器にしん調節つまみを差し込み、しん調節つまみを右「↻」に止まるまで回して、しんを上げてください。

15 緊急消火ボタンを押して、対震自動消火装置を作動させ、しんが完全に下がることを２～３回確かめてください。

しんの上下がスムーズでない場合は９ページの11項からやりなおしてください。

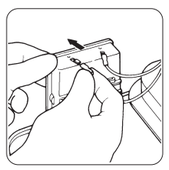


16 しんをいっぱいに上げたとき、しんの高さは、標準（しん高さ調節つまみの①の穴に固定ピンの凸部が入っているとき）で、RS-217・KRS-217は約７㎜、その他の型式は約６㎜です。しんの高さが均一に揃っていることを確かめてください。

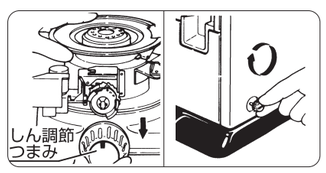
●10ページの**しん高さ確認ゲージ**を使用して、しんの高さを確認してください。

17 しん上端の糸のほつれ等がありましたら、はさみなどで取り除いてきれいに整理してください。

18 電池ケースに、コード（２本）をカチッと音がするまで差し込んでください。



19 しん調節つまみを引き抜き、体をかぶせ、体止めねじ（３本）で固定してください。



20 しん調節つまみを差し込みます。

21 燃焼筒を、しん調節器の上に正しくセットしてください。
ガードを閉じて、油タンクを入れてください。

22 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。

23 油タンクに給油してから20分以上待って、しんに灯油が充分に吸い上げられてからしん調節つまみを回してしんを上下させ、点火操作をして、各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

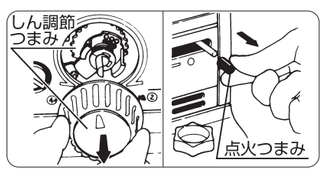
適合する機器の型式表 の 参照 ④ の機種

1 対震自動消火装置のセットつまみを、緊急消火の方向に回して、対震自動消火装置を作動させてください。

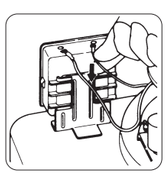
●乾電池を、電池ケースから取りはずしてください。

2 前面のガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。

3 しん調節つまみと、点火つまみを引き抜いてください。

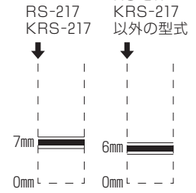


4 体と油タンクの接合部の体止めねじ（３本）をはずし、体を取りはずしてください。



5 油タンク後部の電池ケースのつぎ目（２箇所）で、コードを手前に引き抜いてください。

6 以下は、８ページの７項から10ページの23項目までを参照して、しんを取り付けてください。

■しん高さ確認ゲージ

しんの高さを計るときは破線の部分で切り取ってください。